# 令和8年度(2026年度) 学校評価

学校番号72　　長野県木曽青峰高等学校　　全日制

| 学校教育目標 | 重点目標 |
|---|---|
| 新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、<br>自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる<br>(re デザイン:繰り返し描き実現して行く)<br>**(教育方針)**<br>◇育てたい人間像<br>○あきらめない心を持ち、創造力豊かに、自分や地域・社会の未来を re デザインしていく人<br>○課題解決に向かって、様々な立場を乗り越え、多様な主体とともに力を合わせていける人<br>○自然や地域文化を大切にする心を持ち、地球環境の未来を考える視野を併せ持った人<br>◇育てたい力<br>○幅広い教養とそれによる自分と社会をつなげてみる視野の広がり『教養力』<br>○将来の可能性を広げるため、まずその基本固めを志す『基本力』<br>○物事を理論的に考え、本質を見抜こうとする『探究力』<br>○物事の新しい在り方、モノづくりの明日をデザインして表現できる『構想力』<br>○多様な主体を互いに認め合い、他者と力を合わせて課題に取り組む『協働力』<br>○主体的に自分や社会の未来を描き続けようとする『志力』 | ① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。<br><br>② 多様な生徒の進路希望をサーチし、自己肯定力を持たせながら主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。<br><br>③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。<br><br>④ 専門科の全国募集に向け、実施に向けた学びの環境を整える。 |

評価の材料・基準
A.　アンケート・評価　　【 ア　生徒・保護者　イ　教職員　ウ　学校評議員　エ　その他 】
B.　成績　　C.　データ　　D.　活動などの状況　　E.　その他

| 対象 | 評価項目(重点目標番号) | | | 評価の観点 | 評価の材料・基準 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習指導 | 共通 | 授業内容の充実 | ①②④ | 授業内容、進度等が生徒に即した適切なものであったか。<br>学習の意欲・関心を引きだし探究的な学びを促すような内容となっていたか。<br>ICT機器や外部講師の活用などによって、魅力ある授業が展開できたか。 | A-ア<br>D |
| | | 家庭学習の習慣 | ② | 生徒自ら、主体的に家庭学習をおこなうことができるように指導できたか。 | A-ア<br>C |
| | 普通<br>理数 | 授業・補習内容の充実 | ①②③ | 授業・補習等での探究的な学びを通じて、生徒の知的好奇心やコミュニケーション能力など人間的な成長のための力をつけさせることができたか。 | A-ア<br>C・D |
| | 森林環境<br>インテリア | 各種資格検定への取り組み | ②④ | 授業・補習等によって、計画的な指導をおこなうことができたか。<br>生徒が満足できる成果・実績をあげることができたか。 | C・D |
| 進路指導 | 進路目標の明確化 | | ②③ | ＨＲ、総合的な探究の時間、進路ガイダンス、生徒面談、懇談会等を通じて、進路や生き方を考え、望ましい職業観を見につけ、できるだけ早い時期に自身の進路目標を明確にできているか。 | A-ア<br>D |
| | 具体的な進路指導 | | ②③ | ３年間を見通した進路指導方針を立案し、それを実践できているか。<br>生徒が学校見学、企業見学、インターンシップ事業等に積極的に参加し、それを進路決定に活かすことができているか。<br>資料・情報を整備し、効果的に生徒に提供することができているか。 | C・D |
| | 進路の実現 | | ②③ | それぞれの生徒が望む進路を実現できたか。<br>就職を望む生徒の希望を実現することができたか。<br>国公立大学に学年全体の13%以上の合格者を出すことができたか。 | B・C・D |

| 対象 | 評価項目（重点目標番号） | | 評価の観点 | 評価の材料・基準 |
|---|---|---|---|---|
| 生徒支援 | 生徒の人権意識<br>自己指導力の育成 | ①② | 授業、特別活動など、あらゆる機会を通じて、人権について考えさせることができたか。<br>生徒の個性の伸長をはかりながら、自己指導力の育成を指導援助できたか。 | A−ア<br>D |
| | 社会性の涵養 | ②③ | 集団的な活動の中で、社会性の涵養を支援できたか。<br>生徒会、部活動等の活動の中で、生徒と地域の関わりを支援し、地域社会に貢献できる生徒の育成を行えたか。 | A−ア・イ<br>ウ<br>D |
| | カウンセリングの充実 | ①② | 生徒及び保護者にカウンセリングを周知し、相談指導が円滑におこなえたか。<br>生徒の実態を把握し、支援の必要な生徒に対し適切な指導がおこなえたか。<br>スクールカウンセラーや外部機関と緊密な連携をとることができたか。 | A−ア・イ<br>ウ<br>D |
| 特別活動 | 自主活動の充実と生徒の自立 | ②③ | 生徒会活動に対し、生徒自らが目標を定め、自主的・積極的に取り組めるように支援できたか。<br>生徒会として、生徒会員の学校生活をより向上させる努力をするよう、支援できたか。 | A−ア・イ<br>D |
| | 地域を視野にいれた活動 | ②③ | 第18回蒼陵祭に主体的・積極的に取り組み、地域と連携できるように支援できたか。<br>地域の各種行事への参加・協力、木曽養護学校との交流等、多様なボランティア活動を支援できたか。 | A−ア・イ<br>ウ・エ<br>D |
| 全般 | ＰＴＡ活動の充実<br>家庭との連携 | ③ | 各委員会の活動など、ＰＴＡの諸活動が活発にできたか。<br>活動を通じて学校の様子を的確に伝え、学校への理解を深められたか。<br>ＰＴＡ活動を通じて学校と家庭が課題を共有し、課題解決のために協力することができたか。 | A−ア・イ<br>D |
| | 情報発信 | ④ | 学校の教育活動に関する情報が、生徒・保護者・地域に素早く、適切に発信できたか。<br>ホームページの内容を充実させ、魅力的なものになっているか。<br>スクールマガジンを通して、学校の様子をアピールできたか。 | A−ア・イ<br>ウ・エ<br>D |
| | 地域との連携<br>開かれた学校づくり | ③ | 地域の関係機関との情報交換を行い、緊密な連絡が取れているか。<br>学校評議員や地域からの意見を受け入れる体制ができたか。<br>保護者や地域住民などに対して授業公開ができたか。<br>保護者や地域住民などが見学できる各種発表会を開催することができたか。<br>中学校での進路講話などを通じて、学校の状況を十分に伝えることができたか。<br>体験入学に多数の中学校が参加し、学校の様子を十分に伝えることができたか。 | A−ア・イ<br>ウ・エ<br>C・D |
| | 生徒・職員の健康管理 | ① | 生徒・職員の健康状態を把握し、疾病・怪我の予防や健康維持・増進のために適切な措置を講じることができたか。 | C |
| | 連絡体制の完備 | ① | 日常の学校生活において、保護者への連絡事項が確実に伝わっているか。<br>緊急時に対応できる態勢が整えられており、情報及び対策を生徒・保護者・職員に確実に伝えることができたか。 | A−ア・イ<br>D |